

授業科目名 <英訳>	フランス語学フランス文学(特殊講義) French Language and Literature (Special Lectures)				担当者所属・ 職名・氏名	人文科学研究所 准教授 森本 淳生					
配当 学年	3回生以上	単位数	2	開講年度・ 開講期	2018・ 後期	曜時限	金2	授業 形態	特殊講義	使用 言語	日本語
題目	レチフ・ド・ラ・ブルトンヌと書簡体小説 没後作品、彷徨する文字、不在の主体										
[授業の概要・目的]											
<p>書簡体小説 (Le Roman épistolaire) は18世紀文学の代表的ジャンルのひとつであり、モンテスキューの『ペルシア人の手紙』(1721)からリチャードソンの『パミラ』(1740)や『クラリッサ』(1747-48)、ルソーの『新エロイズ』(1761)を経て、ラクロの『危険な関係』(1782)にいたる、現代まで読み継がれる傑作が生み出されてきた。</p> <p>レチフ・ド・ラ・ブルトンヌ(1734-1806)はブルゴーニュ地方の比較的豊かな農家に生まれ、少年時代に牧童生活を営んだ後、オーセール、ついでパリで印刷工として働きながら、作品を書き始めた作家であるが、処女作『有徳な家族』(1767)や出世作となった『墮落百姓』(1775)をはじめとして以下の11篇の書簡体小説を書いている(これに加えて独自の社会改革論である「奇想大全」シリーズの『ポルノグラフィ』や『ミモグラフィ』も書簡体を採用している)。</p> <p>La Famille vertueuse, 1767. Lettres de lord Austin de N**, ou la Confidence nécessaire, 1769 Adèle de Comm** ou Lettres d' une fille à son père, 1772 Le Paysan perverti, 1775 Le Quadragénaire, 1777 Le Nouvel Abeilard, 1778 La Malédiction paternelle, 1780 La Paysanne pervertie, 1784 La Femme infidèle, 1786 Le Paysan et la paysanne pervertis, 1787 Les Posthumes, 1802</p> <p>授業では、ラクロの傑作『危険な関係』を講読し、書簡体小説の到達点を確認したうえで、レチフの書簡体小説、とりわけ『墮落百姓』、『墮落百姓娘』、『父の呪い』、『不実な妻』、『没後書簡Les Posthumes』等を取りあげて、レチフにおける書簡体小説の完成とその展開を概観するとともに、レチフ作品における「手紙」の機能を分析し、そこから18世紀後半に生じた「文学的モデルニテ」のあり方について考察することにした。</p>											
[到達目標]											
レチフの諸作品やその他の作家の書簡体小説の読解を通じて、文学的にも政治的にも精神史的にも大きな転換期であった18世紀フランスについて一定の知識と理解を習得する。											
[授業計画と内容]											
<p>第1回 イン트로ダクション：授業の概要と進め方 第2回～第3回 18世紀の書簡体小説について 第4回～第7回 ラクロ『危険な関係』：翻訳輪読と原文精読 第8回～第10回 『墮落百姓』と『墮落百姓娘』：「行為」としての書簡と暴走する「弟子」たち 第11回～第12回 『父の呪い』と『不実な妻』：家族の真実と書簡 第13回～第14回 『没後書簡』とレチフ文学における「手紙」の機能</p>											
フランス語学フランス文学(特殊講義)(2)へ続く											

フランス語学フランス文学(特殊講義)(2)

第15回 まとめ

第4回～第7回は、『危険な関係』の翻訳を4回ほどかけて輪読する。あらかじめ割り当てを決めるので、担当者は担当部分の内容について要約して説明するとともに、精読すべき重要箇所の原文(1-2頁)を選定する。原文講読箇所は1週間前までに配布するようにし、他の参加者も予習してくることにする。

[履修要件]

適宜フランス語資料を読むので、文法知識と一定の読解力を持っていることが望ましい。

[成績評価の方法・観点及び達成度]

期末レポートによる(授業に関係する内容について自由にテーマを設定してください)。

[教科書]

ラクロ 『危険な関係』(白水社) ISBN:978-4560099056 (桑瀬章二郎・早川文敏 訳)
講義内容についてはプリント配布。『危険な関係』は上記の翻訳書を使用します。フランス語原文についてはいずれの版でも構いませんので各自準備してください。

[参考書等]

(参考書)
授業中に紹介する

[授業外学習(予習・復習)等]

授業中に参照するフランス語テキストについては適宜予習してください。

(その他(オフィスアワー等))

KULASISの「オフィスアワー機能」を参照。

オフィスアワーの詳細については、KULASISで確認してください。